

(S27-24 用)

研究課題名	転移性膵腫瘍に関する後ろ向き多施設共同研究
研究期間	研究対象期間として、2005年1月1日から2015年8月31日まで (転移性膵腫瘍と診断された患者さんを対象とする。)
研究の目的と意義	膵臓にできる悪性腫瘍は様々で、その多くは膵臓癌(膵原発膵管癌)です。多臓器(胃や大腸や腎臓などの様々な膵以外のもの)から膵臓に転移する転移性膵腫瘍は稀で頻度が少なく、分かっていることも少ないです。頻度や診断方法や生命予後などを明らかにするために、多くの病院の転移性膵腫瘍のデータを収集・解析を行います。収集されたデータについて解析・公表することによって、原発巣によっては、化学療法を変更したり、膵転移巣を切除することで長期生存が得られたり、診断をつけることによって今後の予後の予測に繋がることがあると考えられます。
研究方法	2005年1月1日から2015年8月31日までに転移性膵腫瘍と診断された患者さんのうち、本研究の基準に当てはまる患者さんの診療録の中から必要なデータだけを用い、全施設から集計されたデータを解析、評価します。 ・転移性膵腫瘍の原発(どこから転移してきたか)や割合、その頻度 ・基本的な情報(年齢、性別、既往歴)や腫瘍情報(大きさ、個数、部位)、診断方法、治療法、予後 データは匿名化されるので、プライバシーの侵害は起こりません。患者さんの個人を尊重し、個人情報に厳重に保護し、取り扱いには十分留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施しております。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 消化器内科 副部長 田中 聖人 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)